

BOM for Windows Ver.7.0 SR1 リリースノート

Copyright © 2017 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

このドキュメントでは、BOM for Windows Ver.7.0 SR1 の主な新機能、仕様変更、不具合修正、制限事項の各内容について、ご案内しています。

■ 新機能 ■	2
1. AWS S3 ストレージ容量監視を追加	2
2. AWS S3 ファイル送信アクションを追加	2
3. syslog 送信アクションを追加	2
4. イベントログ監視のプロパティに除外フィルターを追加	2
5. Linux 接続に公開鍵による認証方式を追加	2
■ 仕様変更/機能改善 ■	3
1. BOM ヘルパーサービスのサーバー証明書の更新	3
2. インストールメディアに同梱のツールを追加	3
3. 集中監視 Web コンソールのパスワード有効期限を可変に変更	3
■ 注意・制限事項 ■	3
1. パフォーマンスカウンター監視のヘルプで一部表示できないものがある	3
■ 公開済みモジュール ■	4
1. BOM for Windows Ver.7.0 ディスク容量監視 / Linux オプション Ver.7.0 / VMware オプション Ver.7.0 用修正モジュール	4
2. BOM for Windows Ver.6.0 SR2 / 7.0 向け 未アクセスファイル監視 修正モジュール	4
3. BOM for Windows Ver.7.0 Helper サービス 修正モジュール	4
4. BOM VMware オプション Ver.7.0 VMware イベント監視 アップデートモジュール	4

■ ■ ■ 更新履歴 ■ ■ ■

- 2017年03月 BOM for Windows Ver. 7.0 リリース
- 2017年11月 BOM for Windows Ver. 7.0 SR1 リリース

■ ■ ■ 製品表記 ■ ■ ■

本リリースノートでは、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本リリースノートでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.6.0	BOM 6.0
BOM for Windows Ver.7.0	BOM 7.0
BOM for Windows Ver.7.0 SR1	BOM 7.0 SR1

■ ■ ■ BOM Report オプション Ver.7.0 SR1 について ■ ■ ■

BOM Report オプション Ver. 7.0 SR1 の新機能、仕様変更/機能改善および、注意・制限事項については、弊社サイトの製品情報およびサポート技術情報を参照してください。

■ ■ ■ 新機能 ■ ■ ■

1.AWS S3 ストレージ容量監視を追加

- アマゾンウェブサービス(AWS)の Amazon Simple Storage Service(S3)上に作成されたバケットのサイズや、バケット内のフォルダーおよびファイルのサイズ・数を監視することができるようになりました。

2.AWS S3 ファイル送信アクションを追加

- 対象の監視項目が設定されたしきい値に達した際に、AWS S3 の任意のバケットへファイルを送信するアクションを追加しました。

3.syslog 送信アクションを追加

- 対象の監視項目が設定されたしきい値に達した際に、設定した syslog サーバーに対して syslog 形式のメッセージを送信するアクションを追加しました。

4.イベントログ監視のプロパティに除外フィルターを追加

- イベントログ監視について、BOM で収集したイベントログを基に GUI 上で除外設定が出来る機能を追加しました。
- 除外設定の内容をエクスポートおよび、インポートする機能を追加しました。

5.Linux 接続に公開鍵による認証方式を追加

- BOM Linux オプション Ver. 7.0 SR1 の認証方式について、ID/パスワード方式に加えて公開鍵認証方式に対応しました。
PuTTY 形式の RSA (SHA-2) または DSA 秘密鍵ファイルに対応します。
- 鍵ファイルを他形式から PuTTY 形式へ変換するためのツールとして、“BOM 7.0 PuTTYgen”を同梱しました。

■■ 仕様変更/機能改善 ■■

1. BOM ヘルパーサービスのサーバー証明書の更新

- SSL チェックツール「ssllscan」等でセキュリティ脆弱性チェックを実施した際、BOM ヘルパーサービスで「SSL Certificate」がエラー状態となる現象に対応するため、BOM ヘルパーサービスが使用するサーバー証明書を更新しました。

2. インストールメディアに同梱のツールを追加

- 弊社へ問い合わせをしていただく際に必要な情報を収集する“BOM 7.0 情報収集ツール”をインストールメディアに追加で同梱しました。
同梱先: [BOM7SR1_DVDROM]¥TOOLS¥BOM 7.0 情報収集ツール
- BOM 6.0 の設定ファイルを、BOM 7.0 で読み込める形式に変換するための“BOM 7.0 設定変換ツール”をインストールメディアに追加で同梱しました。
同梱先: [BOM7SR1_DVDROM]¥TOOLS¥BOM 7.0 設定変換ツール

3. 集中監視 Web コンソールのパスワード有効期限を可変に変更

- 集中監視 Web コンソールへログインする際に使用するパスワードについて、有効期限を“30 日”“60 日”“90 日”“120 日”“150 日”“180 日”“360 日”“無期限”から選択できるよう変更しました。

■■ 注意・制限事項 ■■

1. パフォーマンスカウンター監視のヘルプで一部表示できないものがある

- パフォーマンスカウンター監視の設定タブで、以下のオブジェクトとカウンターを選択した際に、一部のヘルプメッセージが表示されません。
これは表示のみの問題で、監視動作には問題ございません。
(一例) パフォーマンスオブジェクト :Cluster CSVFS
カウンター :Volume State

■■ 公開済みモジュール ■■

下記の内容は Web サイトなどで公開済みの修正モジュールで修正済みの内容です。
BOM 7.0 SR1 ではこれらのすべてを含んでおり、個別に修正モジュールを適用する必要はありません。
また、以下いずれかの内容に対応する修正モジュールを適用済みの環境に BOM Ver.7.0 SR1 を適用した場合、未適用の修正モジュールを自動で判断し、すべての修正モジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1.BOM for Windows Ver.7.0 ディスク容量監視 / Linux オプション Ver.7.0 / VMware オプション Ver.7.0 用修正モジュール

- 監視対象の Windows ディスクまたは、Linux のディスクまたは、VMware ESXi のストレージを監視する際に使用する監視項目を設定した際に存在しないディスクまたはストレージが設定された状態で、閾値を選択してもアプリケーションの応答無し状態にならない様変更。
 - 従来は Windows のディスク容量監視または、Linux ディスク容量監視の閾値タブ内でスライダーのメモリを自動描画していたものを、自動描画機能を無効とし、0MB となる様変更。
 - 従来は VMware ストレージ空き容量監視の閾値タブ内でスライダーのメモリを自動描画していたものを、自動描画機能を無効とし、代わりに 10 分割するメモリ描画を追加。
- 2017 年 7 月 28 日公開:BOM for Windows Ver. 7.0 ディスク容量監視 / Linux オプション Ver. 7.0 / VMware オプション Ver. 7.0 用修正モジュール

2.BOM for Windows Ver.6.0 SR2 / 7.0 向け 未アクセスファイル監視 修正モジュール

- 監視対象のファイルにおいて現在日時から 6 か月前の日時と同じ年の未アクセスファイルが存在していた場合であっても正常に検知できるよう修正。
- 2017 年 7 月 28 日公開:BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 / 7.0 向け 未アクセスファイル監視 修正モジュール

3.BOM for Windows Ver.7.0 Helper サービス 修正モジュール

- SSL チェックツール「ssllscan」等でセキュリティ脆弱性チェックを実施した際、BOM ヘルパーサービスで「SSL Certificate」がエラー状態となる現象に対応するため、BOM ヘルパーサービスが使用するサーバー証明書を更新。
- 2017 年 9 月 5 日公開:BOM for Windows Ver. 7.0 BOM Helper サービス 修正モジュール

4.BOM VMware オプション Ver.7.0 VMware イベント監視 アップデートモジュール

- vCenter 6.5 で BOM VMware オプションの「VMware イベント監視」を実行すると、過去分に記録されたイベントをさかのぼって検知する現象に対応するため、モジュールを更新。
- 2017 年 9 月 5 日公開:BOM VMware オプション Ver. 7.0 VMware イベント監視 アップデートモジュール